

Profile



西田 博 (指揮)

東京芸術大学を経て同大学院修了。海野義雄氏等に師事。在院中、名古屋フィルハーモニー交響楽団や山形交響楽団のコンサートマスターを務める。1979年には、C.エッセンバッハ氏に迎えられ、ラインランド・プファルツ州立フィルハーモニーオーケストラの第一コンサートマスターに就任、ソリストとしてヨーロッパ各地で同団と共に演奏する。1989年に帰国し、94年まで東京交響楽団にて首席コンサートマスターを務める。現在までにソリストとしてモスクワ室内管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、マインツ室内管弦楽団等と共に演奏、ソロ・室内楽・指揮など活発な活動を続け、CDもBMG・フォンテックからリリースしている。現在、洗足学園大学非常勤講師、東京ヴィヴァルディ合奏団ソロ・コンサートマスター、日本弦楽指導者協会常任理事。2010年5月上海万博にて第九を指揮、大成功をおさめる。

光岡 暁恵 (ソプラノ)



昭和音楽大学卒業、同大学院修了。文化庁新進芸術家海外留学制度研修員としてミラノへ留学。Bunkamura / 産経新聞社主催「第2回オペラティックバトル」女声部門第1位。第39回日伊音楽コンクール第3位。第5回静岡国際オペラコンクールで第1位(日本人初)・三浦環賞ほか3冠を受賞、輝かしい受賞歴を持つ。06年藤原歌劇団公演「ランスへの旅」フォルヴィル伯爵夫人役で本格デビュー、超絶技巧のアリアを佐藤美枝子と競演した。そのほか「愛の妙薬」「夢遊病の娘」「ルチア」などに主役で出演、活躍。07年より2年間チューリッヒ歌劇院にて研修生として在籍、同歌劇院「こどものためのオペラ〜魔笛〜」に夜の女王役で出演し好評を得る。09年日本でソリストを主催し大好評を得る。また、NHK-FM名曲リサイタル等のコンサートに出演。今後は2011年3月藤原歌劇団公演「ルチア」にタイトルロールで出演が決まっている。今後の日本のオペラ界を牽引していくプリマドンナの一人。イタリア在住。藤原歌劇団員。

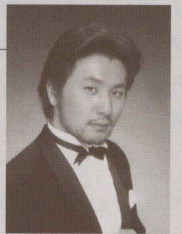


小畑 朱実 (アルト)

東京芸術大学卒業。同大学院修了。文化庁オペラ研修所第8期修了。安宅賞受賞。奏楽堂日本歌曲コンクール第1位。文化庁在外及びローム財団の特別在外研究員としてイタリアに留学。「セヴィリアの理髪師」のロジーナ役でイタリアデビュー。マスコミでも高い評価を得る。その後ヴァチカンの御前演奏に招待を受ける。帰国後文化庁「カルメン」では主役に抜擢、新しいカルメン像を作り上げたこと絶賛される。2005年ドイツデビュー。同年の「トリスタンとイゾルデ」のブランゲン役でも好評を得る。レパートリーは古典から現代曲まで幅広い。最近では「グラム、マカーブル」「パルシファル」「ワルキューレ」などドイツオペラの出演が多い。オペラ以外では現代日本歌曲を得意にしており、作曲家からの初演以来も多く演奏への信頼は厚い。テレビ出演、NHK-FM、CD録音等幅広く活躍。武蔵野音楽大学准教授。東京芸術大学講師。二期会会員。東京室内歌劇場会員。

<http://www.akemi.info>

秋谷 直之 (テノール)



群馬県出身。国立音楽大学声楽科卒業。二期会オペラスタジオマスタークラス修了。ミラノ音楽院修了。第10回カンツォーネコンクール優勝。イタリアオペラなどをレパートリーとし、今までに「ノルマ」、「ナブッコ」、「リゴレット」、「椿姫」、「仮面舞踏会」、「ザザ」、「エドガール」(日本初演)、「ボエーム」、「トスカ」、「蝶々夫人」、「トゥーランドット」の主役を演じる。イタリアではローマのドリア・パンフィーリ宮殿を始め、各地にてコンサートに多数出演し、好評を得る。これまで新国立劇場をはじめ、サントリーホールオペラ、びわ湖ホールオペラなど日本を代表する数々のオペラに出演している。新国立劇場に於いては、「愛怨」(瀬戸内寂庵書き下ろし)で主役の大野浄人、こどものためのオペラ劇場「ジークフリートの冒険」でジークフリート、小劇場オペラシリーズ「ザザ」でミーリオを演じ、いずれも各方面から好評を得ている。二期会会員。

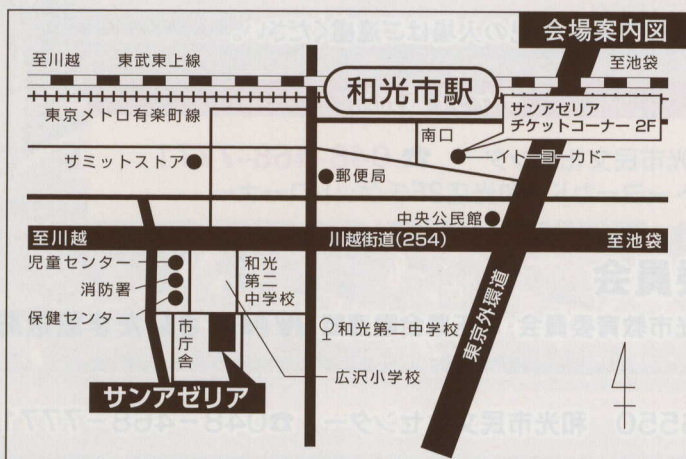


谷 友博 (バス)

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。95年渡伊、リクルートスカラシップ奨学生としてミラノ音楽院に学ぶ。全日本学生音楽コンクール、ピストリアコンクール・オペラ部門、日伊音楽コンクール、日本音楽コンクール声楽部門いずれも第一位と、国内外のコンクールで輝かしい結果を残す。渡伊中、「セヴィリアの理髪師」「椿姫」などでヨーロッパの歌劇場に出演。帰国後「ラ・ボエーム」ショナールで藤原歌劇団にデビュー。その後も新国立劇場、小澤征爾音楽塾ほか国内の劇場・プロダクションで活躍。その他各種コンサートでも活躍し、サントリーホールのホールオペラ「ドンカルロ」では急遽レナート・ブルソンの代役を務め、成功を取り大好評を得る。今後は2011年2月新国立劇場「夕鶴」、3月藤原歌劇団公演「ルチア」など多くのプロダクションに出演が決まっている。艶やかな音色と確実なテクニックを合わせ持ったプリモバリトンとして、多くの人を魅了し続けている。藤原歌劇団員。

シビックコンサート について

1993年5月30日に和光市民文化センター(サンアゼリア)にて柿落とし公演として、ベートーヴェン「第九」が市民により編成された管弦楽団と合唱団により上演されました。その後市制35周年を記念した2005年にも市民により上演されたベートーヴェン「第九」は、和光市にとって記念の演奏曲と言えます。今年は、市制施行40周年を迎えさらに充実した演奏になるよう、市民を中心とした実行委員会を立ち上げました。管弦楽、合唱団ともにアマチュアによる編成ではありますが、ベートーヴェン「第九」のような大曲を市民の手づくりの形で演奏できるということは、和光市にとって大変意義ある文化活動と言えるものではないでしょうか。



和光市民文化センター

- 交通**
- 池袋から東武東上線(準急・急行)13分
東京メトロ有楽町線 池袋から18分(各停)
 - 東京メトロ副都心線 池袋から14分(急行)・18分(各停)
 - 東武東上線・東京メトロ有楽町線 副都心線
和光市駅下車南口から徒歩15分
 - 和光市駅南口からバスをご利用の場合、
東武バス(西大和団地経由)
「和光第二中学校」(3つ目)下車徒歩1分
 - 駐車場(有料)には限りがありますので、ご来場の際はできるだけ電車、バス等公共交通機関をご利用ください。

<http://www.sunazalea.or.jp>